

登録コード	A3593309	開講年度	2026					
授業科目	専攻演習					担当教員	片山 茂	
英文授業名	Selected Seminar							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（後期）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	専門分野での実験手法に関する原理を理解できるようになる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	専門分野での実験手法を修得し、その技術を活用できるようになる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	専門分野での実験手法に関する原理を理解できるようになる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	専門分野での実験手法を修得し、その技術を活用できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	食品化学分野で必要な実験技術を習得するためにトレーニングを行う。実験手法に関する原理を自主的に学習するとともに、与えられた実験課題に取り組む。さらに、研究分野の先行研究や研究背景を学習し、スライドに取りまとめ、ゼミ形式で発表する。							
(5)授業計画	基礎的な実験トレーニングとゼミ形式の発表会を行います。ゼミ形式の発表会では、1人1回、専門分野に関するプレゼンテーションを行います。最後の授業回に授業アンケートを実施します。							
(6)自主学習の指針	図書館や研究室には参考となる専門書が多くあります。参考書等は与えられるのを待つのではなく、自分が必要とする専門書を自主的に選択し学習してください。							
(7)成績評価の基準	自主的に意欲を持って取り組むことができるか、実験の原理についてしっかりと自分の頭で理解できるか、先行研究や研究背景に関して、分かりやすく他人に説明できるかを評価する。							
(8)事前事後学習の内容	実験の原理、先行研究、研究の背景に関しては、図書館または研究室の専門書を用いて、積極的に取り組むこと。							
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてレポートを課します。							
(10)成績評価の方法	学習意欲やレポートの内容等を踏まえて総合的に評価します。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	適宜、受け付けます。							
(12)履修上の注意	体調不良等の欠席の際は事前にメールで連絡ください。							
【教科書】	特になし。							
【参考書】	適宜、提示します。							